



【担当：薬局】



インスリン製剤の保管方法

かき氷や冷たいスイカが美味しい季節ですね。まだまだ暑い日が続き、食べ物が腐ってしまいそう...なんて方も多くいると思います。

実は、お薬も同じように気温で変化してしまうものがあるんです。今回はそんな暑い時期に気を付けていただきたい、糖尿病治療薬であるインスリンの保管方法についてお話します。

正しい保管方法

まず本来のインスリン保管方法についてです。未開封のものと開封後のものでは表のように保管方法が変わってきます。

	保管方法	温度
未開封	冷蔵庫	2～8℃
開封後	室温	30℃以下

〈Point!〉

冷蔵庫の冷氣吹き出し口の近くはインスリンが凍ってしまいます。

一度でも凍ってしまったものはその後元の状態に戻っても使用しないでください。

直接冷たい風が当たらない
冷蔵庫のドアポケットがおすすめです！



なぜ冷蔵庫で保管するの？

インスリンはタンパク質でできており、温めると性質が変化します。よく例として出されるのが「卵」です。卵もタンパク質でできており、加熱すると固まりますよね。インスリンも熱で変化し、お薬の効果が弱くなってしまう可能性があるため保管方法に注意が必要です。

夏場は注意！

ここで気を付けたいのが夏場の暑い時期です。エアコンをかけていないと部屋の温度が30℃を超える日もまだまだありますよね。ではどのように保管するといいのでしょうか。暑い時期には、開封後のものでも冷蔵庫で保管してください。また、持ち歩く場合は保冷剤や保冷バックを活用しましょう。

温度の高い場所で保管していると次のように見た目の変化が起こることがあります。このような異常がみられたら残りがあっても使用を中止して、新しいものを使用してください。



おわりに

インスリンの保管方法について、お分かりいただけましたか？ まだまだ暑さが続きます。食べ物もお薬も気温に気をつけて保管していきましょう。お薬の保管に関して気になることがあれば、お気軽にご相談ください。

***取り上げて欲しい病気や検査、質問等がありましたら、投書箱やよろず相談窓口に
お願いします。随時取り上げていきたいと思っています。**

【監修:ふれあい編集事務局】